



もっとつながる。未来が動き出す。

2024年度 第3四半期決算について

(2025年3月期 第3四半期決算短信補足資料)

2025年1月31日

西日本旅客鉄道株式会社

1. 決算概要

<連結決算>

(単位：億円、%)

	2023年度 第3四半期	2024年度 第3四半期	対前年		2024年度 通期予想	対前年	
			増減	比率		増減	比率
営業収益	11,943	12,456	513	104.3	17,180	829	105.1
（うち運輸収入）	6,328	6,741	412	※ 106.5	8,870	464	105.5
営業利益	1,724	1,753	28	101.7	1,700	△ 97	94.6
経常利益	1,610	1,642	32	102.0	1,555	△ 118	92.9
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	1,098	1,146	47	104.3	1,000	12	101.3

※運輸収入対コロナ前比(2019年比):99.0

■ 決算のポイント

1. 概要

・ご利用回復及び北陸新幹線の敦賀延伸効果等により、**4期連続の増収・増益**

2. セグメント

・**モビリティ業、流通業**は、ご利用の回復や敦賀延伸効果、インバウンド需要増等により、**増収増益**

・**不動産業**は、大阪プロジェクト開業による売上増はあったものの、開業に伴う一時的経費の増等により、**増収減益**

・**旅行・地域ソリューション業**は、前年コロナ関連受託事業の売上が減少し、**減収減益**

■ 業績予想

・2024年度の**業績予想**は、概ね想定の範囲内で推移していることから、11/1公表の予想を**据え置き**

■ 株主還元

・予定していた約500億円の自己株式取得及び消却を完了。**年間配当は1株あたり74円の予想を据え置き**

2. 連結損益計算書

(単位：億円、%)

	2023年度 第3四半期	2024年度 第3四半期	対前年		主な増減要因	2024年度 通期予想	対前年	
			増減	比率			増減	比率
営業収益	11,943	12,456	513	104.3	【4期連続の増収】	17,180	829	105.1
モビリティ業	7,273	7,701	427	105.9	運輸収入の増	10,375	510	105.2
流通業	1,483	1,576	92	106.2	物販飲食業の増	2,015	44	102.3
不動産業	1,562	1,683	121	107.8	不動産賃貸・販売業の増、S C業の増、ホテル業の増	2,375	197	109.1
旅行・地域ソリューション業	1,441	1,290	△ 151	89.5	受託事業の減	2,130	69	103.4
その他	181	205	23	113.0		285	6	102.3
営業費用	10,218	10,703	484	104.7		15,480	927	106.4
営業利益	1,724	1,753	28	101.7	【4期連続の増益】	1,700	△ 97	94.6
モビリティ業	1,161	1,292	131	111.3	運輸収入の増	1,200	55	104.8
流通業	113	124	11	110.3	物販飲食業の増	120	△ 10	91.8
不動産業	346	320	△ 25	92.6	不動産賃貸・販売業の減、S C業の増、ホテル業の減	350	△ 56	86.1
旅行・地域ソリューション業	79	△ 16	△ 95	—	受託事業の減	15	△ 63	19.1
その他	13	26	12	190.1		30	△ 12	70.9
営業外損益	△ 114	△ 110	3	—	支払利息の減	△ 145	△ 21	—
経常利益	1,610	1,642	32	102.0	【4期連続の増益】	1,555	△ 118	92.9
特別損益	△ 1	19	21	—	固定資産売却益の増	△ 50	172	—
法人税等	472	496	24	105.1		455	46	111.5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,098	1,146	47	104.3	【4期連続の増益】	1,000	12	101.3

3. 各セグメントの主な増減要因

(単位：億円、%)

		2023年度 第3四半期	2024年度 第3四半期	対前年		主な増減要因	
				増減	比率		
モビリティ業		営業収益	7,273	7,701	427	105.9	・鉄道のご利用回復、インバウンドの増
		営業利益	1,161	1,292	131	111.3	
流通業	物販・飲食	営業収益	1,291	1,377	86	106.7	・駅構内店舗売上の増
		【再掲:宿泊特化型ホテル】	【157】	【182】	【25】	【116.2】	・客室平均単価の増
		営業利益	97	108	11	111.9	
	【再掲:宿泊特化型ホテル】	【23】	【35】	【12】	【150.3】		
	百貨店	営業収益	181	186	5	103.1	・免税売上の増
		営業利益	14	15	0	104.4	
不動産業	不動産賃貸・販売	営業収益	821	866	45	105.5	・新規開業による賃料収入の増
		【再掲:不動産販売】	【409】	【409】	【0】	【100.1】	
	営業利益	170	159	△ 10	93.6	・新規開業に伴う経費増	
	【再掲:不動産販売】	【42】	【25】	【△ 16】	【61.5】	・住宅分譲の減	
	ショッピングセンター	営業収益	444	479	34	107.8	・新規開業を含むSC売上高増による賃料収入の増
		営業利益	89	106	16	118.9	
	ホテル	営業収益	290	331	40	114.1	・客室平均単価の増、大阪ステーションホテル開業
		営業利益	13	△ 6	△ 20	—	・大阪ステーションホテル開業に伴う経費増
旅行・地域ソリューション業		営業収益	1,441	1,290	△ 151	89.5	・コロナ関連受託事業の反動減
		営業利益	79	△ 16	△ 95	—	

※各セグメントの内訳は、主な子会社の合計値であり、セグメント計と一致しません。

4. 単体損益計算書

(単位：億円、%)

	2023年度 第3四半期	2024年度 第3四半期	対前年		主な増減要因	2024年度 通期予想	対前年	
			増減	比率			増減	比率
営業収益	7,087	7,524	436	106.2	【4期連続の増収】	9,920	477	105.1
運輸収入	6,328	6,741	412	106.5		8,870	464	105.5
運輸附帯収入	117	118	0	100.2		155	△ 4	97.3
関連事業収入	212	214	2	101.0		280	△ 4	98.4
その他収入	429	450	21	105.1	会社間清算の増	614	22	103.7
営業費用	5,840	6,149	309	105.3		8,720	431	105.2
		うち構造改革△270				うち構造改革△380		
人件費	1,508	1,534	26	101.7	賞与の増	2,055	10	100.5
物件費	2,864	3,052	187	106.5		4,595	298	106.9
動力費	461	454	△ 7	98.4		600	△ 0	99.9
修繕費	957	1,014	56	105.9	業務波動による増	1,660	78	105.0
業務費	1,445	1,583	137	109.5	会社間清算の増 WESTER関連経費の増	2,335	220	110.4
線路使用料等	200	268	67	133.6	北幹敦賀延伸による増	355	82	130.5
租税公課	317	328	11	103.6		400	5	101.3
減価償却費	948	965	16	101.8		1,315	34	102.7
営業利益	1,247	1,375	127	110.2	【4期連続の増益】	1,200	45	103.9

5. 運輸収入及び輸送人キロ

運輸収入

(単位：億円、%)

輸送人キロ

(単位：百万人キロ、%)

			2024年度 第3四半期		対前年		対コロナ前 (2019年比)	2024年度 通期予想		対前年		2024年度 第3四半期	対前年		対コロナ前 (2019年比)
			増減	比率	増減	比率		増減	比率	増減	比率				
新 幹 線	山 陽	定 期	86	4	106.0	108.7	-	-	-	681	37	105.9	108.3		
		定期外	3,167	194	106.6	100.3	-	-	-	13,761	238	101.8	91.8		
		計	3,254	199	106.5	100.5	4,270	215	105.3	14,442	276	102.0	92.5		
	北 陸	定 期	14	7	211.6	212.7	-	-	-	98	54	220.7	217.6		
		定期外	580	276	190.8	186.8	-	-	-	1,877	911	194.3	189.1		
		計	594	283	191.3	187.3	780	357	184.4	1,976	965	195.4	190.3		
	定 期		100	12	114.2	116.9	-	-	-	780	92	113.4	115.7		
定期外		3,747	471	114.4	108.0	-	-	-	15,639	1,149	107.9	97.9			
計		3,848	483	114.4	108.2	5,050	572	112.8	16,419	1,241	108.2	98.6			
在 来 線	近 畿 圏	定 期	818	15	101.9	91.9	-	-	-	12,824	134	101.1	88.1		
		定期外	1,480	73	105.3	97.8	-	-	-	7,802	259	103.4	90.6		
		計	2,298	89	104.0	95.6	3,050	107	103.6	20,627	394	101.9	89.0		
	そ の 他	定 期	156	△ 13	92.3	82.8	-	-	-	2,564	△ 184	93.3	82.1		
		定期外	437	△ 147	74.8	66.3	-	-	-	2,200	△ 683	76.3	65.2		
		計	594	△ 160	78.8	69.9	770	△ 215	78.1	4,765	△ 868	84.6	73.4		
	定 期		974	2	100.3	90.3	-	-	-	15,389	△ 50	99.7	87.1		
定期外		1,917	△ 73	96.3	88.2	-	-	-	10,003	△ 423	95.9	83.4			
計		2,892	△ 70	97.6	88.9	3,820	△ 108	97.2	25,393	△ 474	98.2	85.6			
合 計	定 期		1,075	14	101.4	92.3	-	-	-	16,169	41	100.3	88.1		
	定期外		5,665	397	107.6	100.4	-	-	-	25,643	725	102.9	91.7		
	計		6,741	412	106.5	99.0	8,870	464	105.5	41,812	767	101.9	90.3		

6. 運輸収入の主な増減要因

(単位：億円)

		2024年度 第3四半期					
		対前年		主な増減要因			
		増減	比率				
新幹線	山陽	3,254	199	106.5%	基礎トレンド(100.0%)		
					特殊要因	・移動需要の回復	+172
						・昨年災害反動	+9
						・インバウンド需要の増	+9
・本年災害影響	△ 23						
等							
北陸	594	283	191.3%	基礎トレンド(100.0%)			
				特殊要因	・北陸新幹線敦賀延伸	+291	
					・昨年災害反動	+1	
等							
新幹線計	3,848	483	114.4%				
在来線	近畿圏	2,298	89	104.0%	基礎トレンド(100.0%)		
					特殊要因	・移動需要の回復	+62
						・インバウンド需要の増	+23
						・年末年始曜日配列	+5
・北陸新幹線敦賀延伸	△ 5						
等							
その他	594	△ 160	78.8%	基礎トレンド(100.0%)			
				特殊要因	・移動需要の回復	+18	
					・インバウンド需要の増	+1	
					・本年災害影響	△ 2	
・北陸新幹線敦賀延伸	△ 182						
等							
在来線計	2,892	△ 70	97.6%				
運輸収入計		6,741	412	106.5%			

※荷物収入は金額些少のため省略

7. 設備投資

(単位：億円、%)

	2023年度 第3四半期	2024年度 第3四半期	対前年		2024年度 通期計画
			増減	比率	
連結設備投資計	1,337	1,408	71	105.3	—
自己資金	1,276	1,365	89	107.0	2,940
負担金	61	43	△ 18	70.1	—
単体設備投資計	928	812	△ 115	87.5	—
自己資金	866	769	△ 97	88.8	1,740
(安全関連投資)	(522)	(509)	(△ 13)	(97.5)	(1,010)
(その他)	(344)	(260)	(△ 84)	(75.5)	(730)
負担金	61	43	△ 18	70.1	—

・主な設備投資件名 (単体)

車両新製 (岡山近郊・N700S・やくも)、保安防災対策 (地震対策等)、大阪駅西側エリア開発工事等

8. 連結貸借対照表

(単位：億円)

	2023年度 期末	2024年度 第3四半期末	対前年	主な増減要因																																
流動資産	7,009	5,959	△ 1,049	受取手形及び売掛金の減、未収金の減																																
現金及び預金	2,334	1,260	△ 1,074																																	
棚卸資産	1,606	2,120	514																																	
その他の流動資産	3,068	2,578	△ 489																																	
固定資産	30,789	30,562	△ 226																																	
有形固定資産等	25,572	25,820	248																																	
建設仮勘定	1,226	1,072	△ 154																																	
投資その他の資産	3,989	3,669	△ 320																																	
繰延資産	1	-	△ 1																																	
資産計	37,800	36,522	△ 1,278																																	
流動負債	7,101	6,229	△ 872	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2023期末</th> <th>2024.3Q</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有利子負債残高</td> <td>15,634</td> <td>14,998</td> <td>△ 636</td> </tr> <tr> <td>【有利子負債平均金利(%)】</td> <td>【1.22】</td> <td>【1.26】</td> <td>【0.04】</td> </tr> <tr> <td>新幹線債務</td> <td>974</td> <td>967</td> <td>△ 6</td> </tr> <tr> <td>【新幹線債務平均金利(%)】</td> <td>【6.55】</td> <td>【6.55】</td> <td>【-】</td> </tr> <tr> <td>社債</td> <td>8,599</td> <td>8,104</td> <td>△ 494</td> </tr> <tr> <td>【社債平均金利(%)】</td> <td>【1.01】</td> <td>【1.08】</td> <td>【0.07】</td> </tr> <tr> <td>その他長期借入金等</td> <td>6,060</td> <td>5,926</td> <td>△ 134</td> </tr> </tbody> </table>		2023期末	2024.3Q	増減	有利子負債残高	15,634	14,998	△ 636	【有利子負債平均金利(%)】	【1.22】	【1.26】	【0.04】	新幹線債務	974	967	△ 6	【新幹線債務平均金利(%)】	【6.55】	【6.55】	【-】	社債	8,599	8,104	△ 494	【社債平均金利(%)】	【1.01】	【1.08】	【0.07】	その他長期借入金等	6,060	5,926	△ 134
	2023期末	2024.3Q	増減																																	
有利子負債残高	15,634	14,998	△ 636																																	
【有利子負債平均金利(%)】	【1.22】	【1.26】	【0.04】																																	
新幹線債務	974	967	△ 6																																	
【新幹線債務平均金利(%)】	【6.55】	【6.55】	【-】																																	
社債	8,599	8,104	△ 494																																	
【社債平均金利(%)】	【1.01】	【1.08】	【0.07】																																	
その他長期借入金等	6,060	5,926	△ 134																																	
1年内返済予定長期借入	1,384	1,364	△ 19																																	
未払金等	5,717	4,864	△ 852																																	
固定負債	18,427	17,740	△ 686																																	
社債・長期借入金等	14,159	13,525	△ 634																																	
退職給付に係る負債	2,116	2,000	△ 115																																	
その他の固定負債	2,151	2,214	63																																	
負債計	25,529	23,970	△ 1,558																																	
株主資本	11,034	11,303	269																																	
資本金	2,261	2,261	-																																	
資本剰余金	1,839	1,840	0																																	
利益剰余金	6,946	7,214	268																																	
自己株式	△ 12	△ 12	△ 0																																	
その他の包括利益累計額	46	42	△ 3																																	
非支配株主持分	1,190	1,205	15																																	
純資産計	12,271	12,552	280																																	
負債・純資産計	37,800	36,522	△ 1,278																																	

*2024年度の期首より会計方針の変更を行ったため、2023年度の各数値は当該変更による影響について遡及適用後の数値を記載しております。

9. 各種経営指標

(単位：%、億円、人)

	2023年度		2024年度	
	第3四半期	期末	第3四半期	期末予想
連結ROA	-	4.8	-	4.6
連結ROE	-	9.2	-	9.1
連結EBITDA	2,932	3,430	2,997	3,430
連結減価償却費	1,208	1,633	1,243	1,730

	連結	単体	連結	単体	連結	単体	連結	単体
期末従業員数（就業人員）	44,872	21,580	44,366	21,314	45,487	21,561	-	-
金融収支	△ 142	△ 125	△ 191	△ 171	△ 132	△ 117	△ 184	△ 160
受取利息・配当金	9	26	9	30	13	32	10	36
支払利息	151	151	201	201	145	149	194	196

ネット有利子負債／EBITDA	-	3.9倍	-	-
自己資本比率	-	29.3%	31.1%	-
1株当たり当期純利益（EPS）	225.46円	202.63円	240.84円	210.67円
1株当たり純資産（BPS）	-	2,273.29円	2,411.64円	-

	2023年度		2024年度予想	
	中間	期末【年間】	中間	期末【年間】
配当の状況	57.5円	84.5円【142.0円】	37.0円	37.0円【74.0円】

*当社は、2024年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合で株式分割を実施したため、2023年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり当期純利益（EPS）」及び「1株当たり純資産（BPS）」を算定し記載しております。なお「配当の状況」における配当金額は、当該株式分割前の実際の配当金額を記載しております。

*2024年度の期首より会計方針の変更を行ったため、2023年度の各指標の数値は当該変更による影響について遡及適用後の数値を記載しております。

*「1株当たり当期純利益（EPS）」の期末予想は、2024年度12月末までの自己株式の取得及び、消却の影響等を考慮しております。

- 本スライドは、JR西日本の事業、産業及び世界の資本市場についてのJR西日本の現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明は、さまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。通常、このような将来への展望に関する表明は、「かもしれない」、「でしょう」、「予定する」、「予想する」、「見積もる」、「計画する」、又はこれらに類似する将来のことを表す表現で表わされています。これらの表明は、将来への予定について審議し、方策を確認し、運営実績やJR西日本の財務状況についての予想を含み、又はその他の将来の展望について述べています。
- 既に知られた若しくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、かかる将来の展望に対する表明に含まれる事柄とも大いに異なる現実の結果を引き起こさないとも限りません。JR西日本は、この将来の展望に対する表明に示された予想が結果的に正しいと約束することはできません。JR西日本の実際の結果は、これら展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。
- 実際の結果を予想と大いに異なるものとする重要なリスク及び要因には、以下の項目が含まれますが、それに限られるわけではありません。
 - 財産若しくは人身の損害に関する費用、責任、収入減、若しくは悪い評判
 - 経済の悪化、デフレ及び人口の減少
 - 日本の法律、規則及び政府の方針の不利益となる変更
 - 旅客鉄道会社及び航空会社等の競合企業が採用するサービスの改善、価格の引下げ及びその他の戦略
 - 感染症の発生・流行
 - 地震及びその他の自然災害のリスク、及び情報通信システムの不具合による、鉄道その他業務運営の阻害
- 本スライドに掲げられたすべての将来の展望に関する表明は、2025年1月31日現在においてJR西日本に利用可能な情報に基づいて、2025年1月31日現在においてなされたものであり、JR西日本は、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。
- なお、2005年4月25日に発生させた福知山線列車事故に関する今後の補償費用等については、現時点で金額等を合理的に見積もることが困難なことから、本スライドの見通しには含まれておりません。

当資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。

JR西日本ホームページ「IR情報」 <https://www.westjr.co.jp/company/ir/>